

# 日誌

日誌 04月28日 慶應義塾大学 学籍番号( 52152011 ) 氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	OTC
	10:00	服薬指導
		薬歴記載
	11:00	服薬指導
		薬歴記載
	12:00	休憩
	13:00	調剤
	14:00	電話フォロー
	15:00	フィードバック
16:00	フィードバック	
17:00	振り返り	
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(1)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(2)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(2)名	

# 日誌

日誌 04月28日

慶應義塾大学

学籍番号( 52152011 )

氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

## 具体的な実習内容

### <実習内容>

散剤 調剤

眼軟膏

排便コントロール不良 患者さん 服薬指導

### <実施した内容・調べたこと>

セルフメディケーション 生理痛 薬

顔面麻痺 ステロイド

アセトアミノフェン 力価 1kg 10~15mg

生理痛 受診の目安 痛みが生活に支障をきたしている場合

### <考察・感想>

今日は生理痛のOTC薬の販売、目の中に傷がある患者さん、排便コントロール不良の患者さんの服薬指導を行った。

生理痛のOTC薬患がほしい患者さんには、薬は誰が使うのか、他に使用している薬をうかがった。その結果、40歳の女性の方が使い、他に使用している薬はないことを聞き取った。ロキソニンとカロナールを持ってきてどちらか使ったことありますかと聞いたところ覚えていないそうだった。カロナールの方が入っている錠剤の量が多かったのも、患者さんはカロナールを購入された。販売してから、妊娠/授乳/既往歴/副作用/薬の希望などもっと聞くべきことが沢山あったと思い反省した。カロナールの方がNsaidsよりも胃腸障害などの副作用が少ないからと思って販売したが、カロナールの方が鎮痛作用がロキソニンよりも劣ることも伝えてから選んでもらえれば良かったと思った。また、服用中はアルコールの飲酒を控えることも伝えるべきだったと思う。また、毎回強い痛みがある場合や市販薬でも痛みが治まらない場合は受診をするように伝えるべきだった。

OTC薬の販売では、患者さんの症状にあっていて、購入したいものを購入してもらおうと考えていたが、その薬が本当に患者さんにとって必要なのか、メリットがあるのかという視点が大切だと考えるようになった。

今後、薬剤師として、OTC薬を販売する際は、患者さんがその薬が本当に必要なのか、受診するべきなのかを考え、注意点や副作用を説明し患者さんに選んでいただけるように、知識をつけていきたい。

目の中に傷がある患者さんは前回も処方された眼軟膏の処方だったが、少しペースが早いと思ったので、残薬があるか確認すれば良かったと思った。

排便コントロール不良の患者さんは坐剤が初めての処方だった。手で温めて、とがっている方からいれてくださいと言ったが、認知機能の低下がみられる患者さんだったので、先端を少し濡らしたり、しゃがみこむと挿入しやすいことを細かく伝えた方が良かったと思った。

また、自分の認知機能の低下を悲しんでいるようで、そんなことないですよと言ってしまったが、患者さんの考えを受け入れていないように感じられる可能性もあるので、もっと患者さんの気持ちを受け止めようと思った。

また、電話で坐剤が使えたかどうか、マグミットとセンノシドの使用方法を確認した。

# 日誌

日誌 04月28日 慶應義塾大学 学籍番号( 52152011 ) 氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	○
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	○
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	○
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	○
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

# 日誌

日誌 04月28日

慶應義塾大学

学籍番号( 52152011 )

氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	OTCの販売をする際は、使用する方の年齢/性別/妊娠/授乳/既往歴/副作用/薬の希望などを聞く。 Nsaidsやアセトアミノフェン製剤はアルコールを控えるように伝える
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	

# 日誌

日誌 04月29日

慶應義塾大学

学籍番号( 52152011 )

氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況		
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	
	10:00	
	11:00	
	12:00	
	13:00	
	14:00	
	15:00	
	16:00	
17:00		
場所		
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

# 日誌

日誌 04月29日 慶應義塾大学 学籍番号( 52152011 ) 氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	

# 日誌

日誌 04月29日 慶應義塾大学 学籍番号( 52152011 ) 氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

# 日誌

日誌 04月29日 慶應義塾大学 学籍番号( 52152011 ) 氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	



# 日誌

日誌 04月30日                      慶應義塾大学    学籍番号( 52152011                      )    氏名( 田中 靖子                      )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	薬歴確認
	10:00	調剤
	11:00	調剤計算
	12:00	休憩
	13:00	薬歴確認
	14:00	在宅訪問
15:00	介護報告書	
16:00	服薬指導	
17:00	振り返り	
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(1)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(1)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(1)名、その他(0)名	

# 日誌

日誌 04月30日

慶應義塾大学

学籍番号( 52152011 )

氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

<実習内容>

小児 散剤 計算

小児 咳症状 服薬指導

在宅訪問

<実施した内容・調べたこと>

フロモックス細粒 力価

<考察・感想>

今日は最後の在宅訪問だった。悪性リンパ腫の患者さんで、前回、咳症状や痰、夜に大腿部裏周辺の痛みがあった。

4/2からプレドニゾロンが減量になったので、食欲が変化したり、倦怠感があったり、炎症による痛みが再燃していないかどうか心配だったが、食欲は前と変わらず、倦怠感もなく、気温が上がるにつれて、痛みは緩和しているようだったので、安心した。また、仙骨部の褥瘡も発赤はなく、アズノール軟膏を使用して、様子をみていくことになった。

また、報告書を作成し、ケアマネさんにファックスを送った。

私が担当した在宅訪問では、ヘルパーさんなどが介入していなく、医師（通院）とケアマネさんの三人でのチーム医療だった。そのため、二週間に一回患者さん宅へ訪問する薬剤師の役割が大変重要だと思った。また、医師やケアマネさんへの報告の際は2ヶ月の体調変化を日付ごとに分かりやすく、患者さんの主訴や客観的に見た痛みの様子、褥瘡の有無、残薬、処方変化後の様子などを記録し、より治療がスムーズにいくよう、伝えることが大切だと思った。

在宅の患者さんでは、コミュニケーションがとりにくいこともあるので、どこが痛いのか許可を頂いて触ったり、褥瘡の部分を見せて頂いたりして、薬剤師がフィジカルアセスメントを行うことの大切さを知った。在宅訪問に伺う前は、薬の効果や副作用の有無をメインで患者さんの状態を確認するものと思っていたが、それだけではなく、普段の生活の様子からQOLを確認し、患者さんがより良い支援や治療を受けられるようにする役割があると思った。

今後、在宅訪問を行うことがあれば、患者さんとの円滑なコミュニケーションを取り、信頼関係を築き、患者さんにどのようなサポートが必要なのか考えられる薬剤師になりたいと思った。

# 日誌

日誌 04月30日 慶應義塾大学 学籍番号( 52152011 ) 氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	○
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	○
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	○
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	○
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

# 日誌

日誌 04月30日

慶應義塾大学

学籍番号( 52152011 )

氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	テオフィリンとカフェインとの相互作用を伝え忘れた。
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	

# 日誌

日誌 05月01日 慶應義塾大学 学籍番号( 52152011 ) 氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	最終評価
	10:00	フィードバック
	11:00	フィードバック
	12:00	休憩
	13:00	発注
	14:00	麻薬
	15:00	服薬指導
16:00	薬歴記載	
17:00	振り返り	
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(1)名、糖尿病(0)名、心疾患(1)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(1)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

# 日誌

日誌 05月01日

慶應義塾大学

学籍番号( 52152011 )

氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	<p>&lt;実習内容&gt; 最終評価 高血圧 脂質異常症 患者さん 服薬指導 医薬品 発注業務</p> <p>&lt;実施した内容・調べたこと&gt; PPI 長期服用 副作用 下痢 胃がん</p> <p>&lt;考察・感想&gt; 今日は最後の自己評価とフィードバックだった。振り返ると、薬物治療上の問題点と患者さんの主訴がごちゃごちゃになっていたの、患者さんの主訴は治療上どの程度デメリットがあるのか考える論理的思考が大切だと思った。また、薬物治療上の問題解決能力には基本的な経験則と臨機的な対応それぞれが組み合わさって、出来上がるものだと思うので、まずは一つ一つの症例を丁寧に見ていくところから、病院実習は始めようと思った。薬局では、少しずつ振り返りの方法を学んだので、病院実習でも継続して続けていきたい。 また、医薬品の発注の際に気を付けることは、 季節ごとに使用される頻度が変わる医薬品があること 麻薬の使用期限 急性期に使用される医薬品はないと困る 冷所品や麻薬は返品ができないこと 薬価がどのくらいか 薬がどの程度のペースで使用されるか などを確認することが分かった。 また、高血圧の患者さんの服薬指導では、PPIが長期処方されていた。60日処方が2～3回続けての処方だったので、難治性の逆流性食道炎かなと思ったが、聞くのを忘れてしまった。体調には異常がなく、血圧コントロールはできているようだった。</p>
----------	---

# 日誌

日誌 05月01日 慶應義塾大学 学籍番号( 52152011 ) 氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	○
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	○
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	○
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

# 日誌

日誌 05月01日                      慶應義塾大学    学籍番号( 52152011                      )    氏名( 田中 靖子                      )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	服薬指導の際に気になったことがあったが聞き忘れた。
添付資料	よもぎ薬局 [自動保存済み]. pptx
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	



# 日誌

日誌 05月02日                      慶應義塾大学    学籍番号( 52152011                      )    氏名( 田中 靖子                      )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	調剤
	10:00	服薬指導
	11:00	薬歴記載
	12:00	休憩
	13:00	薬歴記載
	14:00	調剤
	15:00	調剤
16:00	調剤	
17:00	フィードバック	
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(1)名、心疾患(1)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(1)名、心疾患(1)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

# 日誌

日誌 05月02日

慶應義塾大学

学籍番号( 52152011 )

氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

＜実習内容＞

糖尿病患者さん 服薬指導  
一包化 可否

＜実施した内容 ・調べたこと＞

BMS ベアメタルステント DAPT 1か月  
DES 薬剤溶出性ステント DAPT 12か月  
心筋梗塞 急性期 MONA モルヒネ アスピリン 硝酸薬 酸素  
虚血性心疾患 主に抗血小板薬

＜考察・感想＞

今日は最後の実習日だった。糖尿病の患者さんの服薬指導を行った。  
低血糖症状が出ていたことを先生に言えたと言っていた。グリメピリドは削除されており、その他の糖尿病治療薬は変わらずだった。  
この患者さんは、バイアスピリンとエフィエント錠が長期間処方されていた。daptの使用はPCI後3-12か月とされているが、高齢者の多くは、出血リスクがあるため、血栓発生リスクが高くなければ、三か月程度でsaptに切り替える。今回、切り替えがないということは、患者さんは血管イベントのリスクが高い。高血糖の持続と血糖値の急激な変動がイベント発生リスクを高めるとされている。また、血糖値を90 mg/dL 以上を維持し、180 mg/dL 未満を目標にコントロールすることが推奨されている。  
それを踏まえ、今までの服薬指導を振り返ると、低血糖症状が出ていた患者さんは血糖値の変動が激しいため、血管イベントのリスクが高かったと考えられる。患者さんは自己判断で服薬を中止していた。その判断はおそらく、正しいと考えられるが、正確な血糖値の変動を見てもないと確かなことは言えないので、その時点で先生と相談して、患者さんにどうするかを伝えるべきだったと感じた。

# 日誌

日誌 05月02日

慶應義塾大学

学籍番号( 52152011 )

氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	○
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	○
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

# 日誌

日誌 05月02日

慶應義塾大学

学籍番号( 52152011 )

氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	一包化の際に、お薬手帳がなかったので、処方箋と薬歴を見て、一包化と書いてあったので、一包化の薬を用意した。 プラザキサは一包化不可の薬だったことが、後から判明した。このことから、処方箋と薬歴に一包化と書かれていたとしても、自分が一包化の不可を覚えていない薬は都度確認してから一包化を行うべきだと感じた。
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	

# 日誌

日誌 05月03日

慶應義塾大学

学籍番号( 52152011 )

氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況		
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	
	10:00	
	11:00	
	12:00	
	13:00	
	14:00	
	15:00	
	16:00	
17:00		
場所		
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

# 日誌

日誌 05月03日 慶應義塾大学 学籍番号( 52152011 ) 氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	

# 日誌

日誌 05月03日

慶應義塾大学

学籍番号( 52152011 )

氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

# 日誌

日誌 05月03日 慶應義塾大学 学籍番号( 52152011 ) 氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	



# 日誌

日誌 05月04日

慶應義塾大学

学籍番号( 52152011 )

氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況		
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	
	10:00	
	11:00	
	12:00	
	13:00	
	14:00	
	15:00	
	16:00	
17:00		
場所		
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患(0)名、免疫・アレルギー疾患(0)名、感染症(0)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患(0)名、免疫・アレルギー疾患(0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

# 日誌

日誌 05月04日 慶應義塾大学 学籍番号( 52152011 ) 氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	

# 日誌

日誌 05月04日 慶應義塾大学 学籍番号( 52152011 ) 氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A（1）、（2）参照〕	
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3（1）参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の（処方設計と提案）】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践（薬物療法における効果と副作用の評価）】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅（訪問）医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健（公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動）への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

# 日誌

日誌 05月04日 慶應義塾大学 学籍番号( 52152011 ) 氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	